

【大分県納税貯蓄組合連合会会長賞】

トランプ関税と税の役割

臼杵市立野津中学校

三年 フィンガー 杏華 ジャスミン

税は、国を運営するために必要なお金を集める手段として使われています。消費税や所得税のほかにも、「関税」と呼ばれる税金もあります。関税とは、外国から輸入される商品に対してかけられる税で政府の収入になると同時に、国内の産業を守る役割も果たしています。

二〇一七年にアメリカ大統領に就任したドナルド・トランプ氏は、「アメリカ第一主義」を掲げ、外国からの輸入品に高い関税をかける政策を実施しました。これは、「トランプ関税」と呼ばれ、中国やヨーロッパなどからの鉄鋼、アルミニウム、家電製品などに高い関税が課されました。その背景には、安い外国製品が大量にアメリカに入ってくることで、国内の工場が閉鎖され、雇用が失われているという問題がありました。

トランプ氏の関税政策には、国内の産業を守り、アメリカ人の雇用を増やすという目的がありました。外国製品が高くなることで、国内の製品の価格競争力が高まり、国内企業が有利になるという仕組みです。実際、一部の業界では雇用が回復したという声もありました。

しかし、その一方で問題も生じました。関税によって外国製品の価格が上がると、それを原材料として使っているアメリカの企業のコストも上がり、結果的に製品の値段も上がってしまいます。また、中国などの国々も報復としてアメリカ関税をかけ、「貿易戦争」と呼ばれる対立が深まりました。

このように、関税という税は、単にお金を集めるためだけでなく、国の経済や外交に大きな影響を与えるものです。トランプ関税について調べる中で、税がどのように使われていて、国内外にどのような効果や影響をもたらすのかを学ぶ良い機会になりました。私たちが税について調べるときはその使われ方だけでなく、国際的な税の役割も知ることが大事だなと思いました。

私はこの作文を書くのを通して、税というものが思っていた以上に広い影響力をもっていることを知り驚きました。一つの政策である「トランプ関税」だけでこんなに影響があるので、政治やニュースについて理解するためにまずは、税について理解していきたいと思います。